

MONTHLY KSS NEWS

KSS メーカー機能を持った技術商社 株式会社ケイエスエス 2010.5.18 NO.55

平成22年4月1日より省エネ法が改正されました

省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)は、石油危機を契機として昭和54年(1979年)に、エネルギーの使用の合理化を総合的に進めるために必要な措置等を講ずることを目的に制定されました。

わが国のエネルギー消費は、1990年度を基準として見た場合、産業部門ではほぼ横ばいなのに対し、民生部門では1.3倍と大幅に増加しております。こうした状況を踏まえ、エネルギー消費量の伸びが特に著しい民生部門に係る省エネルギー対策の強化及び地球温暖化防止対策の一層の推進のため、今回省エネ法が改正されました。

平成20年度の法改正により、これまでの工場・事業場単位のエネルギー管理から、事業者単位(企業単位)でのエネルギー管理に規制体系が変わりました(平成22年4月1日施行)。したがって、事業者全体(本社、工場、支店、営業所、店舗等)の1年度間のエネルギー使用量(原油換算値)が合計して1,500k以上であれば、そのエネルギー使用量を事業者単位で国へ届け出て、特定事業者の指定を受けなければなりません。努力目標として事業者ごとに原単位年平均1%以上の低減と改正されております。



個人で出来る省エネ・温暖化防止

待機電力は、家庭の消費電力の約10%を占め、年間平均約9,500円になります。



スイッチで簡単に個別にスイッチのON/OFFが出来、待機電力がカットでき、電気代を節約できます。



話題のハイブリッドカー。通常のカソリン車に比べカソリン使用量は約半分！環境にもお財布にもやさしい車です。

盲導犬チャリティーコンサートを行いました。

(株)KSS音楽部主催『盲導犬チャリティーコンサート』を、弊社、木津工場にて4/25 16:00~18:00に開催致しました。ジャズ演奏、バーベキューを楽しみながら、チャリティーに参加して頂きました、次回も是非お時間のある方は一度ご参加願います。

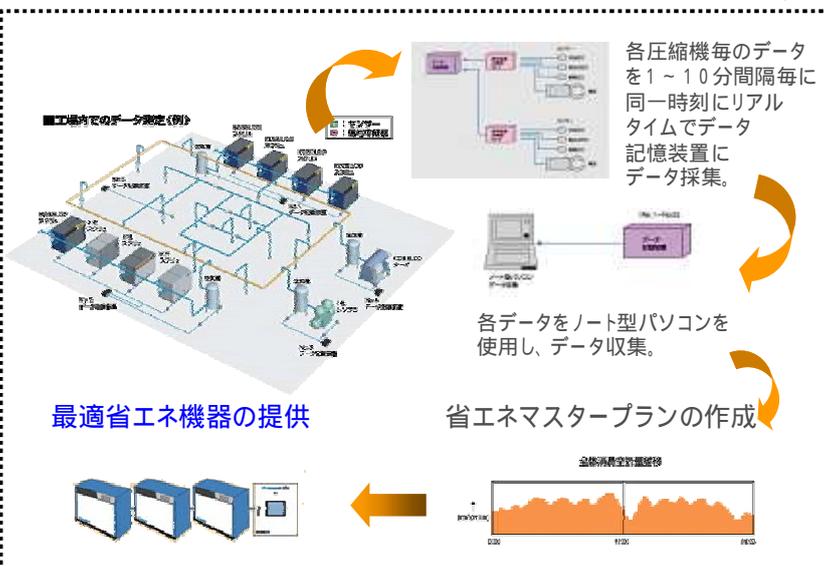


省エネで地球温暖化防止とコストダウンを！

省エネの第一歩としてコンプレッサーに注目してみましょう。コンプレッサーを含むユーティリティー用機器の消費電力は通常の生産工場では約30%、家庭も含めた全体の消費電力では、そのうちの25%を占めています。コンプレッサーで15%の省エネを実現すれば全体の2~3%に貢献します

KSSはコベルコの省エネ診断をご提案致します。

コベルコの省エネ診断はコンプレッサーの運転状況だけではなくレシーバタンク圧力、エアライン末端圧力なども測定しエア供給システム全体の総合診断により最高の省エネ対策を提案します。



2010/1まで2,650社11,000台の診断を実施し、4.21億kWh/年の削減提案を行い1234,000ton/年のCO2を削減しております。制御機器関連企業ではインバータ機の導入によって27,600,000円/年、食品関連企業ではインバータ機+台数制御盤の導入で17,416,000円/年の削減提案を行いました。